

➤ 対象者

ふりがな	いわぬま はなこ			病名
氏名	岩沼 花子 様			統合失調症
性別	☐ 男性 ☒ 女性 <input 2"="" type="checkbox/>()</td> <td>生年月日(年齢)</td> <td colspan="/> S52 年生 (46 歳)			
住所	〒989-240 岩沼市〇〇			
電話	自宅	〇〇-〇〇〇〇	携帯	なし
緊急時連絡先(キーパーソン)	ふりがな 氏名	いわぬま 岩沼 いわこ (75 歳)	対象者との関係	☒ 家 族 (本人との続柄: 母) ☐ その他 ()
	住所	同上		
	電話	自宅: 同上	携帯: △△△-△△△△-△△△△	

【本人(家族)の同意について】 地域と医療が入院中から連絡、情報共有することについて

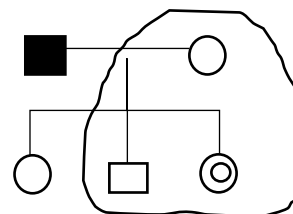
☒本人(家族)の同意を得ている。

☐本人(家族)の同意を得ていない。→☐今後同意を得る予定(担当:) ☐心身状況等から不可能

☐拒否あり

➤ 家族構成(ジェノグラム)と関係性等

- 母は主たる支援者。本人の幻覚からくる不安に、常に寄り添っている。
- 姉は本人を心配しているが別居のため平常時の支援は不可
- 兄は仕事で多忙。



➤ 生活の課題

①本人、母に病識が無い(本人「私は病気ではない。」、母「花子が近隣に迷惑をかけなければ、今のままで構わない。」) ②母は、平常時支援者の介入を拒むが、花子の対応が困難になると(花子が大声を出す等)、「花子を病院に連れて行って欲しい。」と支援者を頼る。(世間体を気にしている様子あり。)

➤ 地域の支援機関一覧 ◎→地域の主担当機関(情報の集約先)

機関名(担当者)	電話番号
◎相談支援事業所 (A氏)	
岩沼市 社会福祉課 障害福祉係 (B)	
塩竈保健所岩沼支所地域保健推進班 (C氏)	

➤ 初回 支援者会議(令和5年 12 月 28 日)

参加者:〇〇病院F相談員、相談支援事業所A、市社会福祉課B、岩沼支所C

入院日	令和 5 年 12 月 15 日 〔任意・医療保護・措置〕			
入院の要因	本人が精神科受診継続を拒否し、医療が中断していたこと。また、本人・母が平常時の支援者との関わりに消極的であったこと。			
医療機関の担当	医療機関名: D病院 ☎〔 〕 医師〔 E先生 〕 相談員〔 F氏 〕			
退院支援の必要性	有(理由は下記に○) ・ 無(理由:)			
	該当する課題に○			
	◎	①退院後の治療継続が困難	②退院先がない	○ ③収入・生活費のこと
	○	④サービス調整(福祉・介護)	⑤家族との関係不和	⑥家族の支援・退院拒否
		⑦仕事探し、就職について	⑧地域との関係不和	⑨子育て支援(虐待含む)
		⑩家族との関係について	⑪本人が退院を希望しない	⑫
		⑬	⑭	⑮
【備考】				
退院支援の方向性	課題番号	対応	担当	いつ
	①	ア)自宅に近い精神科への転院 ①転院を家族に提案 ②転院希望を医療機関に回答 イ)家族の障害理解に向けた援助(統合失調症や医療継続の必要性について説明) ウ)母に、地域における支援者の役割を伝える。	ア)①D病院 ア)②母 イ)D病院 ウ)相談支援事業所A	ア)1.15 まで イ)1.15 まで ウ)1.15 まで
	③	障害年金の申請(制度説明から要)	(未定)	初診から1年半経過後
	④	サービス利用に向けた区分申請(必要性が出てきた時に)	相談支援事業所A・市社会福祉課B	退院後タイミングを図る
次回モニタリング	【時 期】 令和6年1月中旬(16日以降) 【担い手】 相談支援事業所A 【手 法】 相談支援事業所Aが医療機関に電話し進捗状況を確認。その状況は、社会福祉課、岩沼支所とも共有。 【その他】 —			

記入日	令和5年12月28日	記入者	所属〔市社会福祉課〕氏名〔 B 〕
-----	------------	-----	-------------------

➤ モニタリング(令和6年1月16日)

課題 番号	対応	担当	いつ	結果
①	ア)自宅に近い精神科への転院 ①転院を家族に提案 ②転院希望を医療機関に回答 イ)家族の障害理解に向けた援助 (統合失調症や医療継続の必要性について説明) ウ)母に、地域における支援者の役割を伝える。	ア)①D病院 ア)②母 イ)D病院 ウ)相談支援事業所A	ア)1.15 まで イ)1.15 まで ウ)1.15 まで	ア)転院希望なし。 イ)本人・母の認識は変わらない。(受診継続の意欲は低い。) ウ)母了承。 ※2 月中旬退院
③	障害年金の申請(制度説明から要)	(未定)	初診から1 年半経過後	未
④	サービス利用に向けた区分申請 (必要性が出てきた時に)	相談支援事業所A・市社 会福祉課B	退院後タイミ ングを図る	未

次回モニタリング	【時 期】 令和6年2月上旬 【担い手】D病院 F相談員 【手 法】ケース会議(ZOOM) 【その他】 1. 会議の検討内容 ① 地域の見守り体制について(本人の心身面、医療継続の確認等) ② 医療中断した時の対応方法について ③ 親亡き後の備えについて 2. 参集者 D病院 F相談員、相談支援事業所A、市社会福祉課、岩沼支所
----------	--

記入者	所属〔相談支援事業所〕氏名〔 A 〕
-----	--------------------